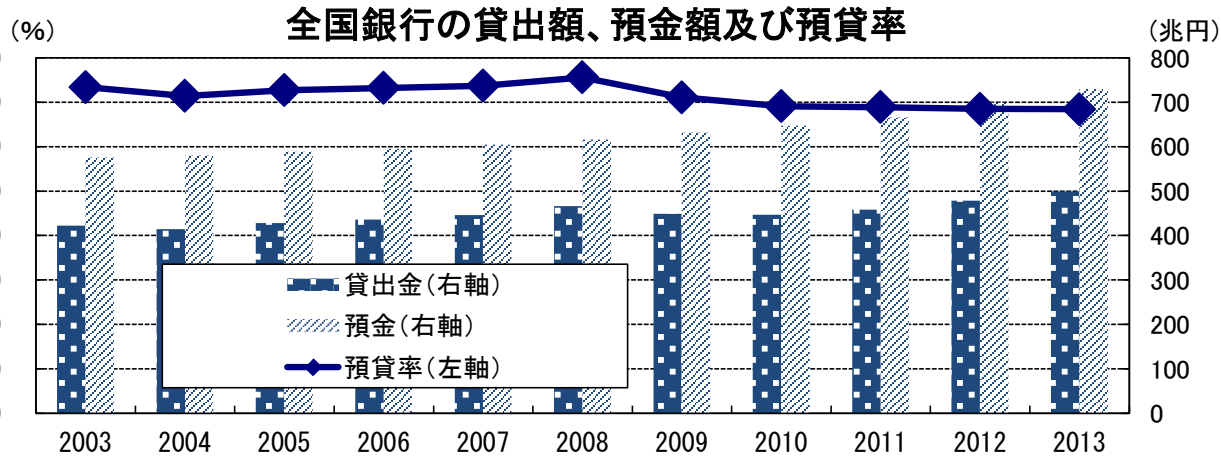
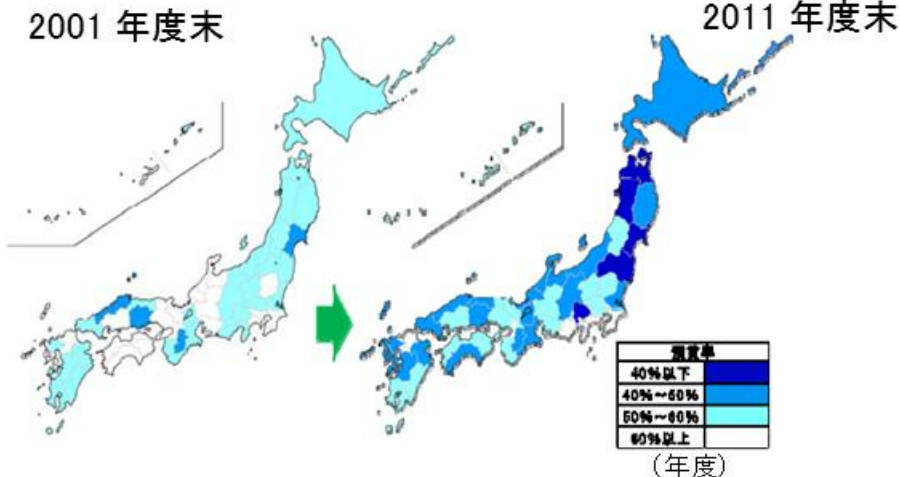


# 預貸率と中小企業向け貸出の推移

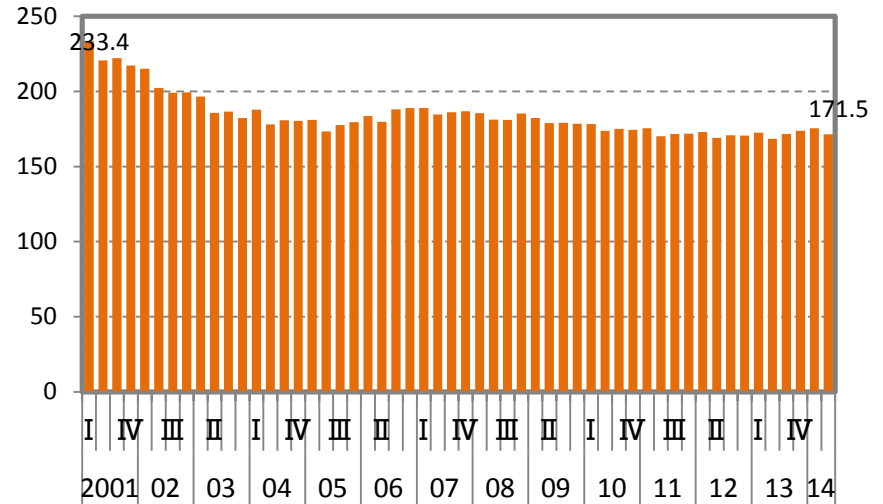
- 預貸率は低下。(特に地方圏における低下が顕著)。これは、預金の伸びの大きさが貸出の伸びの大きさを上回るのが一つの背景。
- 中小企業向けの貸出額は減少(※足下では増加)しているが、前述のとおり、今後成長が見込まれるセクターに対しては、貸出額増加のポテンシャルがあるのではないか。



## 都道府県別の預貸率の変化



## 国内銀行の中小企業向け貸出額の推移



(出所) 日本銀行「預金・貸出関連統計」により作成。  
調査対象は、国内銀行(都市銀行、地方銀行、第二地方銀行及び信託銀行)の銀行勘定、信託勘定及び海外店勘定の期末残高

(出所) 日本銀行作成。  
(備考) 1. 大都市圏は本店所在地が南関東、東海、近畿の金融機関の合計。地方圏はそれ以外の地域の金融機関の合計。2. 集計対象は地域銀行と信用金庫。左図の直近は2012年3月末。

# 地域金融機関の状況

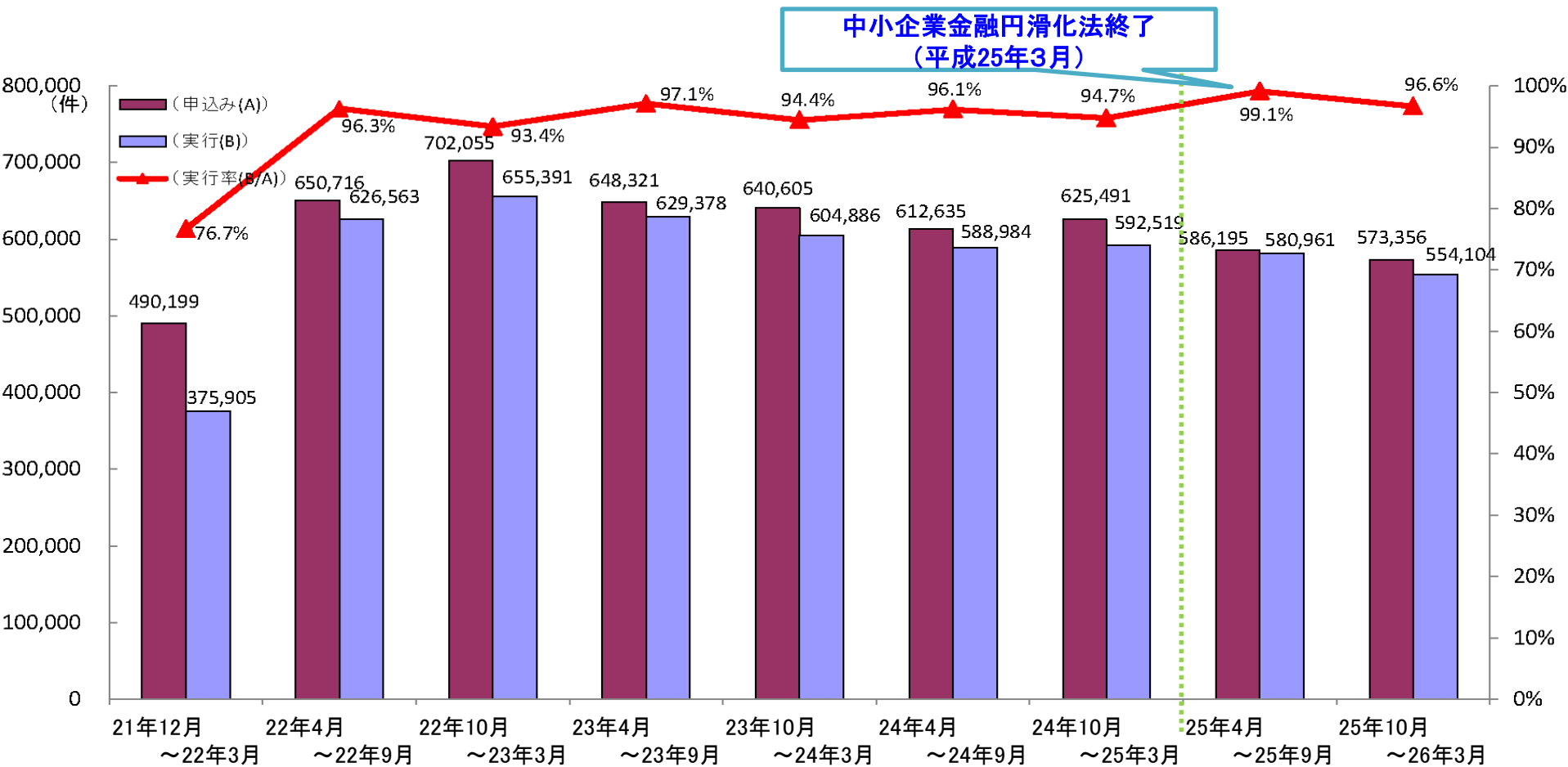
	地方銀行	第二地方銀行	信用金庫	信用組合	都市銀行
預金残高（A）	245兆4950億円	62兆9958億円	128兆1183億円	18兆6999億円	361兆476億円
貸出金残高（B）	172兆6043億円	46兆1999億円	64兆4792億円	9兆7684億円	234兆887億円
預貸率（B／A）	70.3%	73.3%	50.3%	52.2%	64.8%
店舗数	7520店	3054店	7451店	1718店	2532店
純利益	7808億円	2527億円	3228億円	481億円	1兆9766億円
行数	64行	41行	267金庫	155組合	5行

※政府系金融機関による中小企業向けの貸出額は、平成26年3月末時点で22.2兆円。

- 備考）1. 日本銀行、全国銀行協会、地方銀行協会、第二地方銀行協会、全国信用金庫協会、信金中央金庫及び全国信用組合中央協会により作成。  
 2. 上記値は、平成26年3月末時点。信用組合の純利益は速報値。  
 3. 預金残高には譲渡性預金も含む。

# 民間金融機関の貸付条件の変更等の推移（中小企業向け）

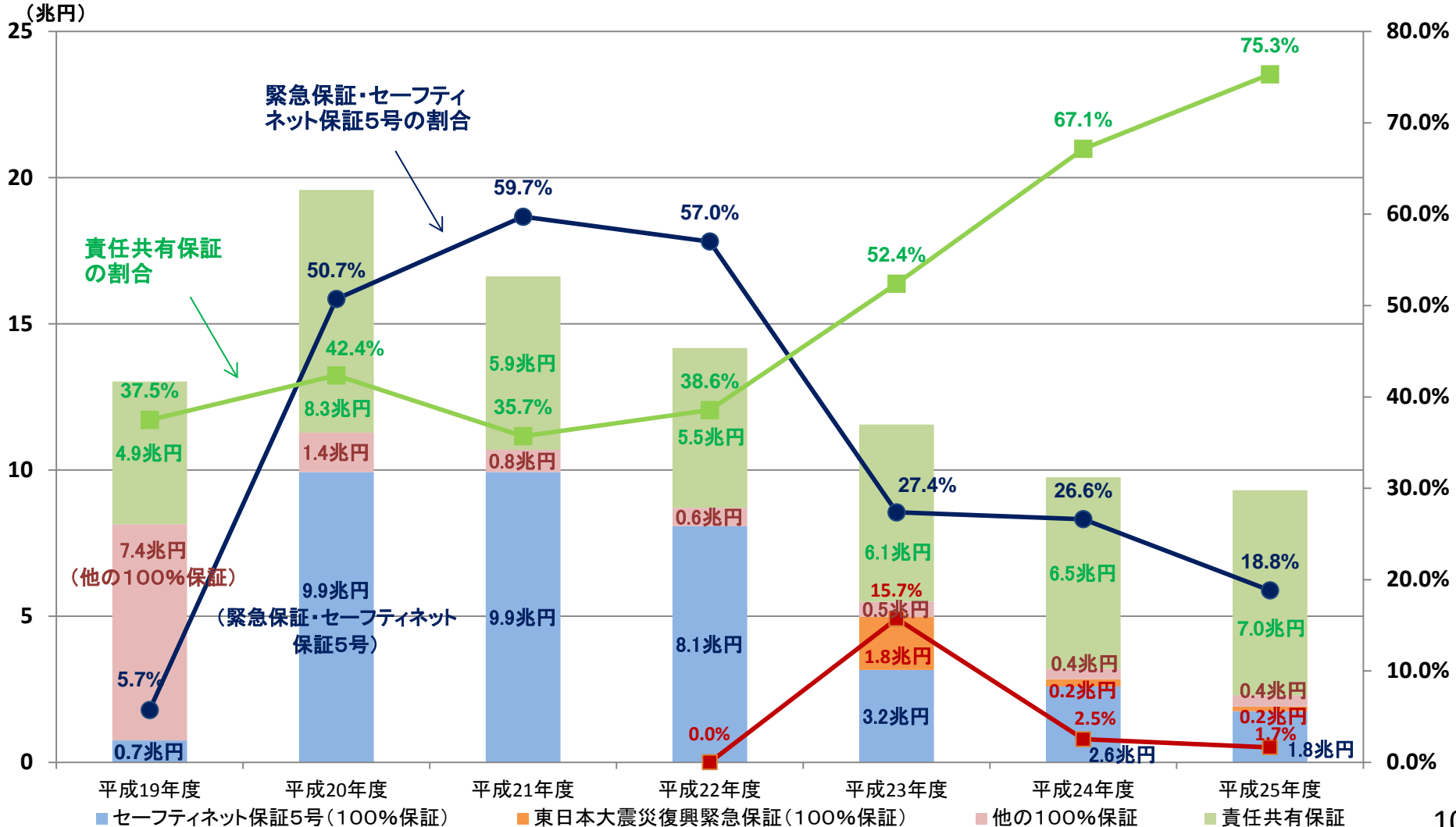
- 直近の半年においても、リーマン・ショック後からの貸付条件変更先数の高水準状態が継続。
- 他方、この中にも、営業利益の改善を実現している事例もあり、そうした可能性のあるところには再生・成長に向けて、地域金融機関、支援機関あげてニューマネーの供給が必要ではないか。



- (備考) 1. 金融庁作成。上記には農林中央金庫を含む。件数は、貸付債権ベース。  
 2. 実行率は、各期間における実行件数と申込件数から算出。  
 3. 25年10月～26年3月の前年同期比は、申込み：91.7%、実行：93.5%  
 4. 計数は現時点の速報値であり、今後の精査により変動しうる。

# 信用保証制度の活用

- 中小企業が民間金融機関から借入を行う際に、信用保証協会がその借入に保証を行うことにより、中小企業の信用力を補完する制度。
- 金融機関が20%のリスクを負担する責任共有制度の割合は平成25年度は約75%まで上昇。
- 経営改善や、新事業、新分野への貸出促進の観点からも、制度の検討が必要ではないか。



## 2. 地域金融の役割

# 地域金融の取組について

## 成長促進のための資金供給

- 資本性劣後ローン等によるメザンファイナンス
- グローバル・ニッチ・トップ企業への資金供給

## ファンドによる資金供給

- 民間ファンドによるエクイティファイナンス
- 官民(例えば中小機構)によるファンドへの出資

## 経営改善・事業再生

- 再生支援協議会の取り組み
- 経営改善計画の策定支援
- 経営者保証ガイドライン

## 地域の課題解決のための資金供給

- 例えば、
- NPOによる活動への融資
  - 組合による活動への融資

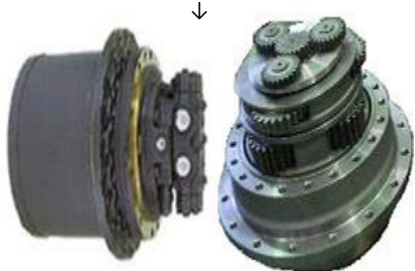
# 成長促進～GNT(グローバル・ニッチ・トップ) 企業の海外展開支援

- GNT企業やGNT候補企業は、高い競争優位性を確保するために、長期的な人材育成、設備投資、研究開発投資等に係る資金が必要。投資回収には長期を要するため、「投資回収サイクル>調達期間」となり調達面のミスマッチが生じる。
- 劣後ローンなど長期一括償還型貸付などのリスクマネー供給により資金調達ミスマッチを解消することで、GNT企業等の戦略的事業展開を支援。

## 高精度減速機製造業(愛媛県)

- 高精度の建設機械用減速機を主力製品とし、設計・素材加工・熱処理・検査まで一貫生産し、組立・試運転までを実施。
- 特に主力製品である「遊星歯車減速機」は、世界の大手建機メーカーに採用され、世界シェアの約30%(ピーク時)を占める。
- 数年前にグローバル生産のための拠点として、中国(蘇州市)に合弁で現地法人を設立。近時の世界的な建機需要の高まりにこたえるべく、現地法人に日本同様の生産体制を整備することを計画。今後の増産、更なる生産設備の拡充に繋がる見通し。
- 海外事業拡張に必要となる1億円程度の資金需要が見込まれる。事業に専念することが可能となるよう、返済負担を軽減した通常より長い期間の資金導入が必要。

パワーショベル用走行減速機  
(走行時に使用)



↑  
当社工場内の歯切り加工ライン

## 繊維製品製造業(山形県)

- 糸の製造からニット製品の企画・デザイン・製造・販売を手掛ける。
- 1932年の創業以来培ってきた高い製糸技術や世界的にも有名な展示会への出展等から、海外有名アパレル企業との直接取引に成功。欧米のデザイナーからの評価を得ている。
- 最近では、英国産ウールを使用し、紡績糸の染色、サンプル品等の研究開発を行うとともに、既にNYにアンテナショップを出しているが、更なる認知度向上のため、今後もアンテナショップを展開予定。
- 研究開発やアンテナショップ展開により1億円程度の資金需要が見込まれる。投資回収サイクルを見据えて、返済負担を軽減した通常より長い期間の資金導入が必要。



↑  
国内屈指の紡績設備を擁し、世界各国から厳選した素材を組み合せ新たな紡績糸を開発

当社製造の細くてよじれの少ないモヘア素材  
ミッシェル夫人(オバマ大統領夫人)が就任式で着用したニットカーディガンに使用された ↓



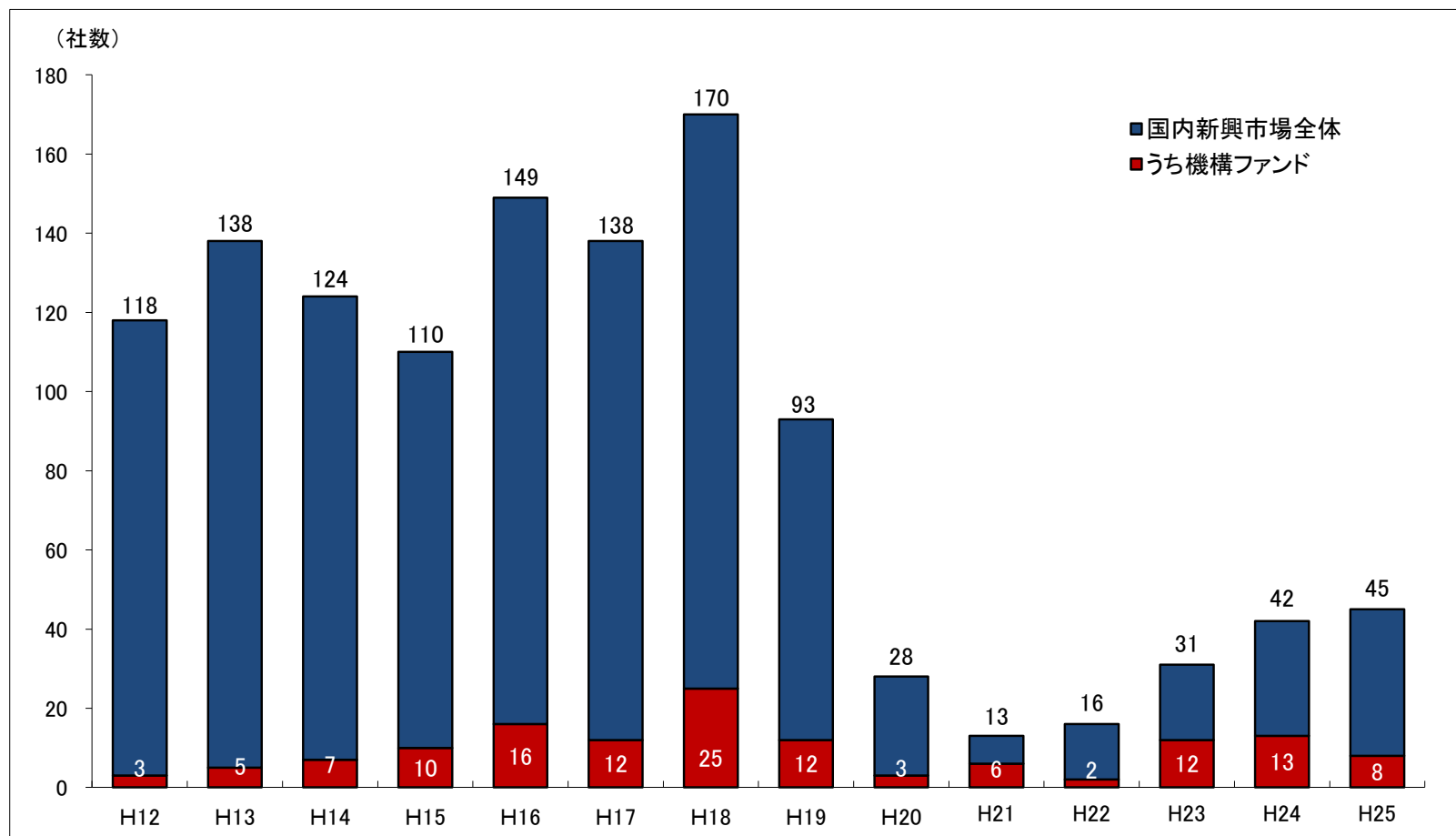
当社製品 ↓



# ファンド出資～国内新興市場における中小機構出資ファンドの寄与

- 中小企業の起業や新事業展開・事業再生に対する円滑な資金供給を図るため、中小機構はファンドに対し出資者(有限責任組合員:LP)の立場でファンド総額の1/2を上限に資金を供給。
- 中小企業基盤整備機構が出資したファンドから、139社のIPO企業が誕生。近年においては、国内新興市場全体のIPOの2割～4割の企業が、中小機構出資ファンドの投資先。

## 国内新興市場のIPO社数推移



(資料) 中小企業基盤整備機構